

社会運動家

賀川豊彦の業績紹介

市役所テーマ別にパネル展

中央区

日本を代表する社会運動家の賀川豊彦(一八八八—一九六〇年)の業績を紹介するパネル展が四日、中央区加納町の市役所一号館二階市民ギャラリーで始まった。

来年十二月に賀川が神戸で活動を始めて百年を迎えるのに合わせ、「賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト実行委員会」が主催。賀川が労働争議に加わったときの様子や協同組

合を立ち上げたときの状況などテーマ別にパネル三十八枚で紹介。国内外を問わず多彩な分野で活躍した足跡を知ることができる。

また、賀川の生涯を一九八八年に映画化した「死線を越えて—賀川豊彦物語」のDVD映像なども上映。賀川の著書約百五十冊の表紙も並べられている。須磨区の主婦溝内美千代さん(スミ)は「生協の人というイメージはあったが、こんなに幅広く活動している人だと初めて知った」と驚いていた。

賀川豊彦の業績を分かりやすく紹介しているパネル展＝神戸市役所1号館

十五日まで(土日は休み)。午前10時—午後4時。入場無料。同実行委員会 ☎371・3550